

## 第2章 元信越本線（しなの鉄道・えちごトキめき鉄道）

## しなの鉄道（長野～妙高高原）

## えちごトキめき鉄道（妙高高原～直江津）

平成30年6月2日(土)～6月5日(火)の4泊5日のかつての信越・北陸本線の旅(営業キロ113.8km)は、次のプランで実施。4日とも天や神のご加護もあり好天に恵まれ、無事当初の予定をクリアできる。この間登場する駅舎数は25駅すべて立ち寄りに成功。これで通算営業キロは9,656km(活動日数479日)となり、目標の1万キロまで344kmとなつた。



今回の歩きによりかつての信越本線の高崎から新潟までが、各駅舎立ち寄り”**鉄道つい歩き**”にて繋がった。同時にかつての北陸本線である米原から直江津までの区間のうち、未踏破区間は敦賀から糸魚川までとなり、北陸本線への踏破の夢が膨らんだ。詳細はこれから順次ご紹介します。

## 第1節 旅プラン

○6月2日(十)

大宮 (7:46) → 長野 (8:43) 輝き 503 (全指定席:9号車15番D席:12両編成)

長野 (9:22) → 妙高高原 (10:06) しなの鉄道

妙高高原 (10:24) → 新井 (10:47) えちごトキめき鉄道

新井～北新井～上越妙高～南高田～高田～春日山～直江津 (16.7 km)

新井 佐藤井 三浦沙織 南向山 朝日 吉  
ホテルセンチュリーアイカサ泊 025-545-3111



○6月3日（日）

直江津（5:16）→ 糸魚川（5:57）えちごトキめき鉄道  
糸魚川～梶屋敷～浦本～能生～筒石～名立～有間川～谷浜～直江津（38.8 km）  
ホテルセンチュリーイカサ泊

○6月4日（月）

直江津（5:09）→ 新井（5:31）  
新井～二本木～関山～妙高高原～黒姫～古間～牟礼（21+18.7=39.7 km）  
牟礼（19:02）→ 長野（19:25）  
東横イン長野善光寺口泊 026-228-1045



○6月5日（火）

長野（7:46）→牟礼（8:09）

牟礼～豊野～三才～北長野～長野（18.6 km）

長野（15:23）→ 大宮（16:46） あさま 622

## 第2節 1日目:2018年6月2日（土）:新井～直江津 晴れ

信越の旅の皮切りは、平成30年6月2日（土）、新井～北新井～上越妙高～南高田～高田～春日山～直江津までの営業キロ16.7 kmに挑戦する。



輝き（長野駅） “しなの鉄道”（赤色の車両）と”えちごトキ”めき鉄道”～妙高高原駅

昨日は両関会があったが、3時過ぎに起床。家内に南林間まで送ってもらい、5時29発の電車で新宿へ。そこから6時22分の川越行きの快速で大宮へ、大宮には6時56分到着。大宮で40分位の待ち時間がある。“かがやき”は大宮を出るとノンストップで長野まで駆け抜ける。窓から歩いた風景が次々登場。長野駅には8時43分到着。約40分位の待ち時間を利用し、長野駅に停車している電車を観察する。懐かしい篠ノ井線や初対面の長野電鉄、飯山線への電車があった。5番線ホームの3両編成の電車で妙高高原駅を目指す。豊野までは平坦であったが、そこから山間が続きながら妙高高原駅。当初古間駅を最終日のスタートに予定していたので、駅周辺の風景をインプットする。牟礼駅や黒姫駅の周辺が意外に賑やかなこともインプット。妙高高原駅からは2両編の車両となる。18分の待ち時間があったので、しなの鉄道（830円）、えちごトキめき鉄道の新井まで切符（410円）を購入する。この区間でも新井まで妙高高原の山間が続く。二本木駅はスイチバックする場面（10時45分）があった。特急電車が停車していた。10時47分、新井駅に到着。雪化粧した妙高高原があった。北新井駅に向かいスタート。10時58分。北国街道橋りょうを潜り、鉄道の右側となる。暫く鉄道に沿って歩く。



大宮駅 長野駅



新井駅

11時8分上着を脱ぐ。11時18分、虹のホールがあった。国道292号線に出る。11時28分、ガストに立ち寄り昼食。妙高高原という地名で12時を迎える。12時17分、第二北新井踏切を横切った後に北新井駅があった。



北新井駅への路 北新井駅

再度この踏切を横切り、鉄道の右側を歩く。12時28分、上越妙高駅への道路標識がある。前に北陸新幹線の線路も見つけたので、その線路に沿って歩く。12時59分、新幹線下を潜る。13時3分、138歩ある瀬渡橋(矢代川)を渡る。まもなく、前に北陸新幹線の駅舎もある上越妙高駅が登場する。上杉謙信の像がある上越妙高駅には13時15分到着。



北陸新幹線



妙高高原駅

13時38分、幹線道路を左折し線路に近づく。13時50分、北林踏切を横切り鉄道の左側となる。14時3分、中田原鍊兵場踏切を横切った先に南高田駅（14時3分）がある。



南高田駅



高田駅

柘植で作った顔が印象的ないずみ幼稚園には14時17分到着。近くに瑞泉寺の「史跡時の鐘」の標識があり。城下町高田の町を歩く。残念ながら大半がシャッター通りであった。14時36分、犬の写真をゲット。マラソン大会のアナウンスがあり。城のイメージをした高田駅には14時53分到着。聞くところによると、上越市は高田市と直江津市などが合併しできた市とのことであった。高田駅を色んな角度から撮影し、春日山駅を目指す。15時8分、ダラニ神社前を通過。15時17分、高速下を潜る。この辺りでボールペンをロストする。15時20分、明日の10kmマラソンの案内板を見つける。15時20分、水田地帯を歩

く。15時32分、諏訪神社前通過。15時51分、高志小学校前で「いけないと/言える勇気と聞く勇気」の標語を見つける。



春日山駅界隈



春日山駅

15時55分、140歩ある川田橋を渡る。16時6分、左手の道沿いに春日山駅を見つける。道路沿った階段を通り、鉄道を潜り、線路の左側となる。少し戻ったところに春日山駅（16時10分）がある。駅前にはかつての春日山城に居住した長尾景虎の案内板があった。駅から春日山が遠くに見える。鉄道に沿って歩く。16時39分、道路下を潜る。16時49分、かつての北陸本線の鉄道（新道踏切：複線）を横切る。



直江津駅界隈

直江津駅

16時51分、前方に直江津の街並みが見えて来る。この辺りで、デジカメの故障（レンズが閉まらず、音が鳴り響く）のような場面に出くわす。暫く悪戦苦闘するが、対処できず。もしかすると、バッテリーを抜いてリセットするとOKではないかと判断し、試行する。

お蔭様で故障の状態をクリアし、レンズが開閉できるようになる。道なりに進んだ先に直江津（17時15分）があった。ホテルセンチュリーイカサ（1513号）は駅前にあった。小休止後、ホテルでお薦めの居酒屋を聴き、“軍ちゅん”に向かい、地酒（能鷹）と郷土料理（黒陸奥と金目鯛）を頂き、本日の疲れを癒す。本日の営業キロは16.7km。万歩計は33,938歩だった。

今振り返ると4日間のうち距離も短いし、フラットな道筋が続いており、一番やさしいコースであった。当初は、長野ではなく上越妙高まで新幹線を活用し、上越妙高から直江津までの営業キロ10.4kmに挑戦したいと考えていた。しかし、3日目と4日目の歩きが厳しくなることから、急遽新井からの歩きに切り替えることにした。それ故、新幹線も大宮から長野まで全席指定の”かがやき”を利用することができた。

一つ反省するとなれば、先憂後楽の着眼点から、ひと駅長野よりの二本木駅からのスタートにしてもよかったです。長野から直江津までは、生まれて初めて踏み入れるエリアだけに、安全策を優先して今回のようなプランとなった。結果的には当初の予定が実現でき大成功であった。長野から新井まで鉄道沿線の風景を堪能しながら、道筋を確認する。長野から豊野まではほぼ平坦なコースであったが、豊野から黒姫、妙高高原と山道が続き、「明日からの鉄道つたい歩きが大変になるのでは」と察知する。

新井から直江津まで印象に残るのは、上越妙高駅前の上杉謙信像、高田駅周辺の街並みと城構えの高田駅の駅舎であろうか。歴史上に登場する春日山は名前の通り山間にあるのではないかと連想したが、予想が大幅に外れ、平野の中にあった。直江津駅は4月以来2度目の立ち寄りとなり、少し懐かしい思いが込み上げて来た。ホテルの紹介で食事処”軍ちゃん”での郷土料理と地酒は幸せな気分にしてくれた。同時に岐阜県から来られた青木さんとの世間話は楽しいひと時であった。



軍ちゃん

## 第3節 2日目：6月3日（日）：糸井川～直江津

元北陸本線のため除外

## 第4節 3日目：6月4日（月）：牟礼～新井 晴れ

信越の旅3日目は、平成30年6月4日（月）、初日にスタートした新井駅まで”えちごトキめき鉄道”で戻り、新井～二本木～関山～妙高高原～黒姫～古間～牟礼の各駅舎立ち寄りに挑戦する。天気も好天に恵まれる。本日の営業キロは39.7kmに加え、山間の歩きとなるため、相当の所要時間を要すると察知。それ故、昨日に引き続き始発の電車（直江津発5時9分発）で新井駅まで移動する。何とか18時半頃までには本日の終点の牟礼駅に到着を目指すことにする。当初は古間駅を想定していたが、明日の歩きを軽減する意味から営業キロ6.5kmあるひと駅先の牟礼駅に変更する。

妙高高原駅からは鉄道が”しなの鉄道”となる。ここから、黒姫駅までの路筋で苦労する。ひとつは新潟県（妙高市）と長野県（信濃町）の県境である関山関所。ここでは、バイクに乗った方にお世話になる。もうひとつは、道の駅黒姫辺りでJAFルートマップと照合するか適合できず、黒姫駅への方向を察知するのに右往左往する。聞きたいけど通行人に対面できず、暫く歩いた先で庭の手入れをして方にお世話になり黒姫駅を無事踏破できる。

古間駅は初日駅近くの風景を覚えていたが、ここでも数人の方のお世話になり踏破できる。そして、古間駅から牟礼駅に向かう際、道路地図を誤って解釈し、山道を進み、3km位大回りとなる。県道60号線に出ると思ったら、国道18号線だった。想定外の出来事だったので、現在位置を確認するのに右往左往。運よく、犬の鳴き声で民家の奥さんが出てこられたので、現在位置と牟礼駅への道筋を教えて頂く。「随分遠いですが、国道18号線を真っ直ぐ進めば着きます」と。国道から町道に下りてからも遠かった。道に迷ったこともあり、6.5kmの営業キロに2時間半要する。しかし、ほぼ当初予定の18時40分（明るい内に）に牟礼駅に到着できホットする。

19時2分の電車で長野駅に向かう。東横インで汗を流した後、長野駅ターミナル（MIDORI）の明治亭で夕食をとりながら祝杯をあげる。時間を要したが、当初の予定は古間駅であったが、明日の歩きの軽減から牟礼駅まで踏破してよかったです。明日であれば、このような結末になつたらパニックになつたかも知れないからだ。

人生というものは実に不思議なもの。美空ひばりの愛燐燐を思い出した。今お世話になっている会社の社名と同一店舗街名（長野駅ビル）や我社主力商品である花水木看板の店（牟礼駅界隈）に本日同時に對面したからだ。本日も色々な意味で天や神に感謝あるのみ。

三日目の詳細な歩きのストーリーは次の通り。



直江津駅



新井駅

4時過ぎに目が覚め、1時間弱の時間を利用して、ホテルのチェックアウトへの準備をする。駅のホームには5時3分到着。今日も昨日に続き快晴であった。直江津駅5時9分の電車で初日スタートの新井駅（5時31分到着）に向かう。始発の2両編成は、昨日の糸魚川方面の電車に比べ、数十名の乗客の姿があった。電車の窓から昨日の歩いた道筋を楽しむ。妙高高原が右手に登場する。本日の歩きは39.7kmと長い営業キロに加え、妙高高原、黒姫高原と山間が続くため、相当悪戦苦闘が予想された。



新井駅



新井駅前

5時38分、二本木駅に向けてスタートする。5時43分、23歩ある昭和橋を渡る。5時58分、飯山街道踏切を横切り鉄道の左側となる。6時13分、姫川原小学校前バス停（妙高市市営バス/頸南バス）を通過。6時16分、小学生が描いたブロック塀があった。この幣を見ると先日の高槻界隈の小学生の悲惨な地震（後の出来事）を思い出した。6時25分、上着を脱ぐ。6時28分、水田地帯が続く。6時33分、前方に妙高高原が見えて来る。電車が妙高高原駅に向かって通過して行く。6時42分、突如上越市となる。6時46分、麻苧田（あそだ）バス停前を通過。鉄道歩きをすると、余り見かけない活字が多々登場する。今回の

“苧”がその一例。同時に素晴らしい地名が多々あると痛感。6時46分、北岡街道踏切を横切る。この界隈は線路がスイッチバックになっており、このような踏切越えとなった。7時11分、青い屋根が印象的な二本木駅に到着。



姫川原小学校前



妙高高原



二本木駅

折角だから駅舎に入り、スイッチバックのホームを観察する。7時14分、再度踏切に戻り、鉄道の左側を歩く。7時28分、道路下に鉄道がある。ここから鉄道の右側となる。7時55分、長野、信濃町の道路標識の交差点で右往左往する。迷った結果、鉄道に近い道筋に切り替える。この進路に入るや否や、農作業をしている方に関山駅への道筋をお伺いする。「真っ直ぐ道なりに進むと、国道に出ます。その先で聞いて下さい」とのコメントを貰い安堵する。水田地帯が広がる。妙高高原が前方にはっきり見える。



二本木駅

8時18分、上越市片貝縄文資料館前を通過。8時30分、北国街道の旗があった。8時43分、国道18号線に合流する。8時46分、再度、妙高市（妙高）となる。8時56分、左手に電車の音を耳にする。9時、旧関山駅前を通過。老朽化したレールやホームが残っていた。ここで、地元の人と対面し、世間話と関山駅への道筋を聞く。「真っ直ぐ歩き、突き当たりの道路を越えた先にあるとのことだった。9時8分、関山駅に到着。この駅前には標高2,454mある妙高山登山口の看板があった。この界隈でも水田地帯が広がっていた。



赤倉山（左）、妙高山（右）



北国街道 旧関山駅



関山駅

9時53分、国道18号線に合流。10時6分、385歩ある妙高大橋を渡る。10時28分、二俣下バス停前を通過。10時34分、草花畑を通過。10時36分、二俣上バス停前を通過。この界隈には民家の気配なし。そろそろ妙高高原駅と思い、10時45分、国道を離れて民家がある路地を歩く。しかし、ここから妙高高原駅は随分遠かった。不安になり、民家の方に聞く。「大橋を渡った先にある」とのことだった。10時55分、白田切橋（白田切川：1000？）を渡る。10時59分、妙高市立妙高高原日田小学校前を通過。ここからも何にも人のお世話になる。やっとのことで、11時25分、妙高高原駅に到着。



二俣下バス停



妙高高原駅と駅の食事処

駅前の食事処でチャーハンを摂る。この店で 20 分位休息し、黒姫駅を目指す。12 時 7 分、国道 18 号線に出る。関川の関所の看板がある。12 時 29 分、道の歴史館前の看板前を通過。少し行った先で、どちらの方向に進むか右往左往する。前方に線路が見えたので水色の橋を渡る。橋を渡った先でも迷う。バイクに乗った方のお世話になり、歩く道筋を教えて頂く。なお、地図では進むべき方向が判明できず。



関川関所

新潟県と長野県県境



野尻湖博物館の標識



高崎～159 km地点

12時45分、新潟県と長野県の県境に関川関所がある。12時46分、鉄道下を潜り、長野県信濃町に入る。12時47分、野尻湖博物館の看板があった。12時50分、前方に上信越自動車道があった。12時55分、岩落ち防止トンネルを通過。13時3分。トンネルを通過。13時9分、国道に合流。13時14分、高崎まで159km地点通過。13時20分、信濃町野尻通過。13時27分、ラブホテルがある。その先で犬が私に向かって呼びかける。「頑張ってね」という感じであった。



野尻トンネル



黒姫山



13時31分、200mある野尻トンネル前に到達。トンネルを通過すると、黒姫山が見えて来る。13時41分、町内の消防から熊出現の情報を耳にする。13時43分、黒姫山を舞台に野尻湖、ナラマンゾウ博物館の案内板がある。13時54分、セブンイレブン信濃町野尻店に入る。この店で黒姫駅を聞く。「少し行った先にある」とのことだったが、恐らく車の距離だろう。ここから、黒姫駅は随分遠かったので。14時4分、野尻一里塚公園前を通過。14時10分、高崎152km、長野33km、豊野23km地点に到達。少し行った先でも右往左往する。私と同じ学年の人のお世話になり、黒姫駅への方向を教えて頂く。「元気ですね。私は畠仕事が精一杯です。頑張って下さい。道の駅で一休みして下さい」とコメントを頂く。14時35分、ご推奨の道の駅があったが、先を急いでいたので立ち寄らず。14時46分、黒姫駅への案内板があり、右折する。10分位歩いた先に黒姫駅（14時55分）があった。15時13分、柏原物産館前に小林一茶の像があった。



道の駅



黒姫駅への路



黒姫駅

小林一茶の像

15時20分、諏訪神社前を通過。15時24分、道路下に線路がある。鉄道の右側となる。15時33分、高崎まで152km地点に到達。16時5分、35歩ある吹野橋を渡る。その先に古間駅（16時10分）があった。駅前には赤い頭巾を被った二宮金次郎風の像があった。



高崎から 152 km地点

古間駅

上り電車がやって来る。この駅から牟礼駅が遠かった。地図の解釈を誤り、山山間を歩く。16時14分、鳥居川を渡る。16時46分、県道60号線と思ったら、国道18号線であった。頭の中が真っ白となる。このどこなのか確認作業するが、辺りには誰も居らず。しかし、犬の鳴き声で私と同年代の女性が玄関先に出て来て、助けて頂く。地図をお見せしながら現在位置を確認する。「この辺りは中島です。この国道を兎に角真っ直ぐ進んだ先に牟礼駅があります。随分遠いですよ。頑張って下さい」と激励を頂く。もう少しで反対方向やとんでもない方向に進むところだった。この奥様のアドバイスは元気を頂いた。16時49分、長野26kmの道路標識がある。17時18分、飯綱田代を通過。



古間駅 鳥居川

迷路への路



国道 18 号線



牟礼東小学校

17 時 33 分、長野 23 km、豊野 13 km 地点に到達。17 時 57 分、小玉で長野 22 km 地点に到達。18 時 4 分、道路下に鉄道がある。その先で国道から下りて、線路の左側を歩く。しかし、ここから牟礼駅は遠かった、18 時 17 分、牟礼駅への看板を見つける。鉄道下を潜り、鉄道の右側を歩く。18 時 32 分、花水木（小料理屋）を見つける。18 時 40 分、やっとのことで牟礼駅に到達する。沢山の高校生の姿があった。



牟礼駅の標識から遠し



花水木 牟礼駅



19 時 2 分の電車で長野駅に向かう。長野駅には 19 時 25 分到着。駅前の東横イン善光寺口（209 号室）には 19 時 45 分到着。長野駅の 3 階にある明治亭（MIDORI）で夕食をとり、本日の踏破に対し祝杯をあげる。本日の営業キロは 39.7 km、万歩計で 62,339 歩だった。充実した一日であった。



牟礼駅



東横イン



## 第5節 4日目：6月5日（火）長野～牟礼 晴れ

信越の旅の締めは、平成30年6月5日（火）、牟礼～豊野～三才～北長野～長野の営業キロ18.6kmに挑戦する。本日は快晴ではなかったが薄雲に恵まれ、いいコンディションの下で歩くことができる。東横インで朝食を摂り、リュックを預かってもらい、身軽な格好での信越本線の詰めとなる。長野駅7時46分発の電車で牟礼駅に移動する。長野駅では私が既に踏破した電車の懐かしい行き先が登場する。中央本線の名古屋駅やしなの鉄道の上田駅。一方では未踏破の飯山線も登場。“どこまでも続くよ鉄道”を強く感じる。



3両編成の車両には沢山の高校生の姿があった。私と同じ牟礼駅で沢山の高校生が下車する。本日の歩きは、初日の歩きに次いで2番目に距離的にもコース的にも楽に思えた。糸魚川～直江津、新井～牟礼は距離的にもハードであったし、鉄道つたい歩きの道筋も負荷を要したからだ。今日の難所は牟礼駅から豊野までの区間で、豊野からJR飯山線が合流しており地形を複雑にしていた。この界隈で山道を進み線路から遠ざかる事態となる。何となく変だと感じ、地図を再確認する。15分位ロスタイルが生じるが原点に戻り、難を逃れる。そして、北長野辺りで長野電鉄が登場する界隈であろうか。当初予定の14時位に長野駅に到着する。

四日目の駅舎への立ち寄り記録は次の通り。

本日は、四日間のうち、一番ゆっくりすることができた。すなわち、5時半位に起床し、ホテルで6時半から朝食を摂ることができたからだ。7時17分、ホテルで荷物を預かってもらい、身軽な格好で歩きの旅とする。長野駅には7時33分到着。かつて踏破した中央本線の名古屋やしなの鉄道の上田が登場し、懐かしい思い出が浮かんでくる。一方、飯山方

面の電車もあり、“どこまでも続くよ鉄道”を強く感じた。7時46分発の妙高高原行き野の電車（3両編成：運賃420円）で牟礼駅に向かう。昨日、牟礼駅で見かけた高校生がこの電車にも。本日の歩きの道筋を確認しながら、8時9分牟礼駅を確認下車。改札口では駅員さんが人数をカウントしていた。



牟礼駅

第四飯山街道踏切

8時20分、高校生に後を追いながら第四飯山街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。8時22分、川を渡る。8時36分、77mある信越トンネル前に到達。平日でもあり、トラックの往来が多かった。8時53分、りんごの里“飯綱町”の看板を目にする。8時58分、飯綱町から長野市となる。9時43分、61歩ある大倉橋を渡り、国道から離れ、川と鉄道の間にある路を歩く。鉄道は山間にあった。9時56分、鉄道下を潜るが、歩き方向が山間に向かっている感じなので引き返す。10時4分、原点に戻り、鉄道の左側の路地を歩く。



信越トンネル 飯綱町から長野市へ

10時26分、JR飯山線の踏切を横切る。10時38分、豊野中学校前を通過。何人もの地元の人のお世話になり、やっと10時50分豊野駅南口に到着。



JR 飯山線踏切 豊野駅

駅の通路を渡り、北口に向かう（10時53分）。駅舎の顔は変わらず。暫く鉄道に沿って

右側を歩く。10時58分、道路下を潜る。地元の人のお世話になり、11時7分、鉄道下を潜り、鉄道の左側を歩くことにする。真っ直ぐ走る道路の左右には水田が広がっていた。11時53分、聖徳保育園前を通過。12時、第1飯山街道踏切を過った先に三才駅がある。駅界隈には適当な食堂があり、数人の方が食堂に入る光景をゲット。本来ならば、ここで昼食を摂りたいところだが、先を急ぎバスする。



三才駅への路 三才駅

12時24分、蓮がある池の前に出る。その先に国立長野高専があった。12時47分、長野電鉄も交差する複雑な地点に到達。しかし、不思議にも迷うことなくスムーズに歩くことができる。12時48分、しなの鉄道と長野電鉄の間の道路を歩く。右手には長野電鉄の電車が通過していく。12時53分、右手には長野新幹線の橋下駄が見える。12時53分、北長野駅に到着。



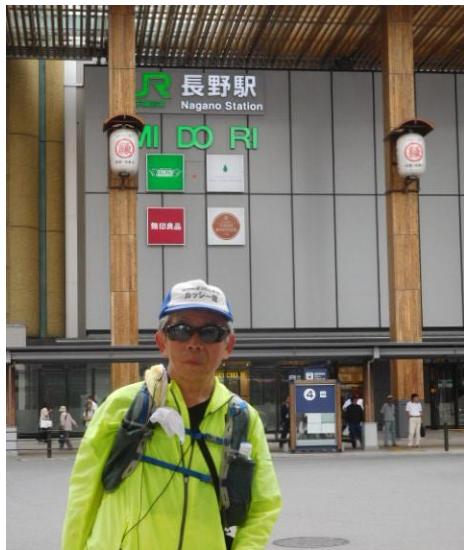
長野電鉄

北長野駅

ここから長野市内の街並みとなる。13時55分、樺の模型前を通過。14時、長野駅に到着。28℃の表示を見かける。14時10分、預けた荷物を東横インで貰い、再度長野駅へ。長野駅でお土産と新幹線の中で祝杯をあげる準備をして、長野駅15時23分のあさま622号で自宅に向かう。祝杯をあげながら、何人かの方に信越本線踏破の達成をSMSで流す。心温まるメールを頂く。自宅には19時2分到着。本日の営業キロは18.6km、万歩計は28,371歩であった。当初の予定が有言実行でき、充実した4日間であった。



長野市内の街並み



あさま 622号（長野駅）

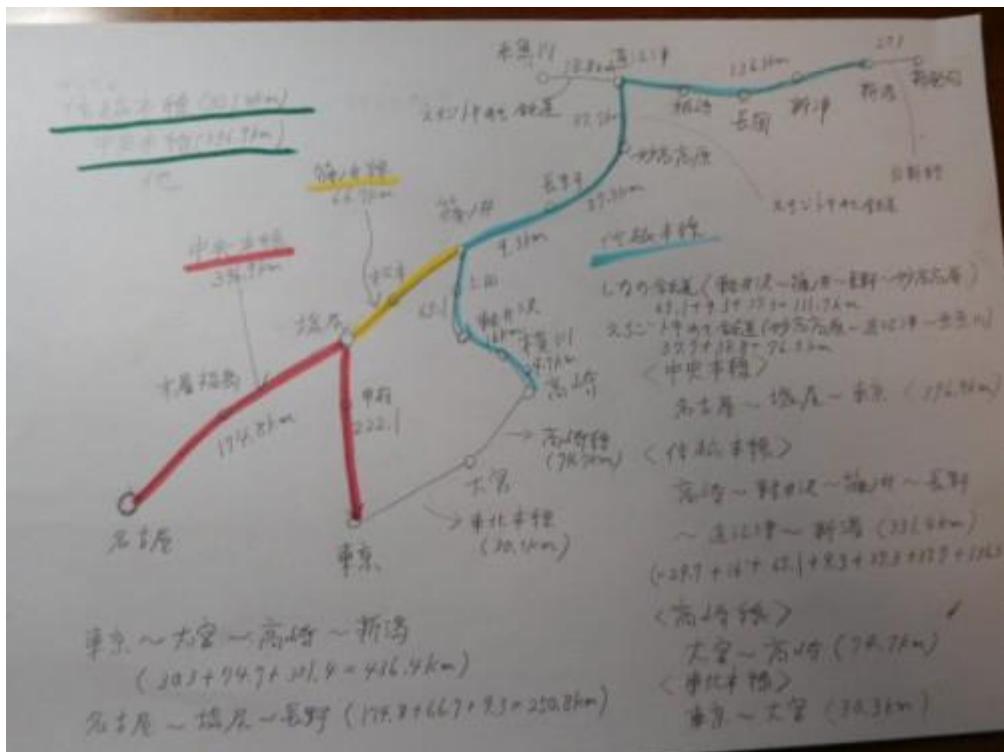


長野駅

長野市内の歩道

♪?????♪&&&&&

かつての信越本線（331.4km）や中央本線他の踏破路線図は下記の通り。



高崎 (29.7 km) ~ 横川 (16 km) ~ 軽井沢 (65.1 km) ~ 篠ノ井 (9.3 km) ~ 長野 (37.3 km) ~ 妙高高原 (37.7 km) ~ 直江津 (136.3 km) ~ 新潟

## 第6節 心温まるメッセージ

○ご苦労様でした。長野から高田経由でしたか、妙高山はきれいに見えたでしょうか。小学生、ただいま、和歌山観光中です。

○お気をつけて。私は韓国から帰ってきたところです。  
天気に恵まれ（たぶん）よかったです。

○おはようございます。暑いですが、応援しています。おめでとうございます！おめでとう=

○おはようございます。素敵ですね。気をつけて下さいね。良かったですね。本当にお疲れ様でした。帰宅まで気をつけてね。=

○おはよう==ございます。相変わらず、頑張っていますね。そろそろギネスでは？私にとっても懐かしい場所です。現役のとき、信州味噌担当で良く行きました。糸魚川では、雪=で列車が立ち往生しました。峠の釜飯懐かしいなあ=私の斎木のルーツ、広島県の田

舎=では最近三江線が、廃線になりました、お疲れ様でした。=ビールが、さぞ美味しいこと=でしょう！

○すごいです！！次々と踏破して・・楽しそうです！！生き生きしています！！また、カッシ一館覗かせて下さいね♪♪♪  
踏破オメデトウ！！美味しいビールでしょうね( '艸' )♪カッシ一館、楽しみにしています☆

○無事踏破されることをお祈りします。また、いずれお話を聞かせください。おめでとうございます。祝杯、さぞかしあいしいことと思います。

○梅雨入り前で天気はまずまずでしたか。お疲れ様。私は今日も東京ドームです。今、ベローチェです。

○お元気ですね。アンヨ気をつけて！暑いから、無理しないでください。私は、高松へ日帰りです。父の墓参。体に気をつけて！本当にお疲れ様！体力的にしんどかったでしょう。樫原さん、あなたは偉い！すごい！

○気を付けて行ってください。毎日楽しみに見ています。おめでとうございます、気をつけてお帰り下さい。ブログ楽しみにしています。

○お疲れ様。予定クリアの祝杯あげています？緑一杯の歩く旅たのしいでくださいね。雨が降ろうが槍が降ろうが歩くのですよね。気を付けて！ブログ楽しみにしています

○無理をせずチャレンジ下さい。挑戦記の挿読を楽しみにしています。